

「評価実施要項」の改定について

「実績報告書作成要領」の改定に伴い、「評価実施要項」についても以下のとおり改定します。(主な点を抜粋)

OP.11 法人が行う自己判定の範囲の変更に伴う改定

(2) 分析項目ごとの水準判定

現況調査表には、学部・研究科等の教育目的や特徴、特色、入学者の状況等が記述されています。さらに各分析項目の観点教育水準分析項目(下記参照)ごとに、当該学部・研究科等の状況について、第1期中期目標期間末からの変化に係る客観的なデータを踏まえて、想定する関係者^{注)}の期待に応えているかという視点で、自己分析・判定の結果が記述されています。

OP.14 研究業績の提出資料の削減に伴う改定

1 書面調査

(1) 実施体制及び方法

- ② 現況分析部会での書面調査は、国立大学法人等から提出された学部・研究科等の現況調査表、~~「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト」~~、「研究業績説明書」、研究業績水準判定結果及び研究活動に関連する様々なデータを分析することにより行います。

OP.16 法人が行う自己判定の範囲の変更に伴う改定 研究業績の提出資料の削減に伴う改定

(3) 分析項目ごとの水準判定

現況調査表には、学部・研究科等の研究目的や特徴、特色等が記述されています。さらに各分析項目の観点研究水準分析項目(下記参照)ごとに、当該学部・研究科等の状況について、第1期中期目標期間末からの変化に係る客観的なデータを踏まえて、想定する関係者^{注)}の期待に応えているかという視点で、自己分析・判定の結果が記述されています。

(略)

特に、分析項目Ⅱ「研究成果の状況」の水準判定に当たっては、学部・研究科等ごとの研究目的に照らして組織を代表すると判断した根拠等が説明された「~~研究業績説明書学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト~~」及びそれらの研究業績の研究業績水準判定組織による判定結果に基づき判断します。

OP.22 法人が行う自己判定の範囲の変更に伴う改定

② 中期目標(小項目)ごとの達成状況の分析

~~達成状況報告書には、各中期目標(小項目)ごとに、関連する中期計画の実施状況や質の向上(改善や向上が見られたか)、高い質の維持という視点を踏まえた目標の達成状況について記述されています。評価者は、上記「中期計画ごとの実施状況の分析」に基づいてをもちき、中期目標(小項目)ごとの達成状況について、以下の区分により判定(4段階)を行います。~~

学部・研究科等の現況調査表

教 育

平成28年〇月

〇〇大学

目 次

1. 〇〇学部	1-1
2. 〇〇研究科	2-1
3. □□学部	3-1
4. ◇◇研究科	4-1

・
・
・
・
・
・
・

〇〇大学〇〇学部

1. 〇〇学部

- I 〇〇学部の教育目的と特徴 1-2
- II 「教育の水準」の分析・判定 1-3
 - 分析項目 I 教育活動の状況 1-3
 - 分析項目 II 教育成果の状況 1-〇
- III 「質の向上度」の分析 1-〇

〇〇大学〇〇学部

I 〇〇学部の教育目的と特徴

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

[想定する関係者とその期待]

・
・
・
・

学部・研究科等の現況調査表

研究

平成28年〇月

〇〇大学

目次

1. 〇〇学部・〇〇研究科	1-1
2. □□学部	2-1
3. ◇◇研究科	3-1
4. ◎◎研究所	4-1

・
・
・
・
・
・
・

〇〇大学〇〇学部・〇〇研究科

1. 〇〇学部・〇〇研究科

- I 〇〇学部・〇〇研究科の研究目的と特徴 1-2
- II 「研究の水準」の分析・判定 1-3
 - 分析項目 I 研究活動の状況 1-3
 - 分析項目 II 研究成果の状況 1-〇
- III 「質の向上度」の分析 1-〇

〇〇大学〇〇学部・〇〇研究科

I 〇〇学部・〇〇研究科の研究目的と特徴

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

[想定する関係者とその期待]

・
・
・
・

